

平成28年(2016年)

紫雲会東京

第10号

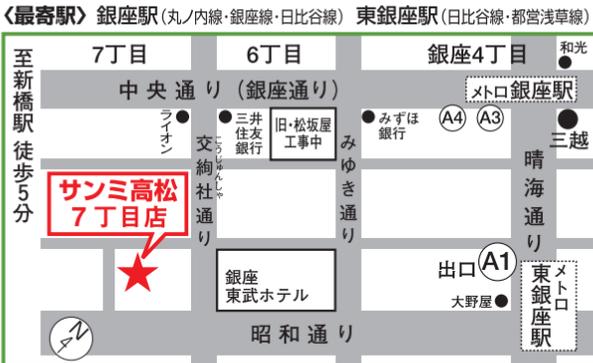
発行者 紫雲会東京支部長 北條 勇
印刷所 (有)ひまわり印刷

〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9 高松商事(株)内 紫雲会東京支部事務局 ☎ 03(5568)3320

編集委員長: 池田政廣 編集委員: 福西佐都美、岩本真由美、入谷稔、田所幸子、鈴木康、大谷美恵子、西木茂雄、太田郁治郎

平成28年度東京支部
総会のご案内
7月2日(土) 12:00
(受付: 11時~)
場所: サンミ高松7丁目店
東京都中央区銀座7-13-20
会費: 男性 7,000円
女性 5,000円
29歳まで 5,000円
20歳まで 無料
問い合わせ先電話 03-5568-3320
高松商事(株)内 紫雲会東京支部
事務局 漆原慎二

サンミ高松7丁目店 案内地図



東京支部では年1度の総会しか同窓生が集まる機会がなかったのが、この1年では球場で、体育館・武道館で、また試合後に同期会をした年次も多くあったと伺いました。

そして総会以外にも親睦交流委員会が行っているゴルフ会や日帰りバスツアーの行事に年々多くの参加者がありました。

勿論、多くの東京支部の皆さんが神宮球場、甲子園球場まで足を運んでいただき声援を戴いた方、TVで手に汗をしながらエールを送って戴いた方も、私と同じことを感じられたのではないのでしょうか。

これ程、同窓会・同窓生と母校との絆が強く結びついたことはないのではないのでしょうか。

高松商業のスポーツの力、取り分け野球が多くの皆さんを引き付けられることを改めて認識をさせられました。

先ず、昨年の総会での支部長挨拶と議長経験、そして本部総会、大阪支部総会への出席とご挨拶、更には昨年11月の第46回明治神宮野球大会の優勝、最後は第88回全国選抜高等学校野球大会で準優勝でした。

1回戦から決勝までの全試合を甲子園球場で応援出来たこと、結果、惜しくも智弁学園に敗れたとは言え、55年振りとなる準優勝を果たしてくれた後輩たちの晴れ姿を見られたことが私としては初体験であり、この感動は私の人生で大きな1ページとなりました。

支部長に就任して、1年が経過しましたが、この1年は私の人生初めての出来事が続きました。

先ず、昨年の総会での支部長挨拶と議長経験、そして本部総会、大阪支部総会への出席とご挨拶、更には昨年11月の第46回明治神宮野球大会の優勝、最後は第88回全国選抜高等学校野球大会で準優勝でした。

1回戦から決勝までの全試合を甲子園球場で応援出来たこと、結果、惜しくも智弁学園に敗れたとは言え、55年振りとなる準優勝を果たしてくれた後輩たちの晴れ姿を見られたことが私としては初体験であり、この感動は私の人生で大きな1ページとなりました。

先ず、昨年の総会での支部長挨拶と議長経験、そして本部総会、大阪支部総会への出席とご挨拶、更には昨年11月の第46回明治神宮野球大会の優勝、最後は第88回全国選抜高等学校野球大会で準優勝でした。

先ず、昨年の総会での支部長挨拶と議長経験、そして本部総会、大阪支部総会への出席とご挨拶、更には昨年11月の第46回明治神宮野球大会の優勝、最後は第88回全国選抜高等学校野球大会で準優勝でした。

東京支部長挨拶

紫雲会東京支部長 S39年卒 北條 勇



会費納入のお願い 紫雲会東京支部は皆様の会費で運営されています。皆様、会費のお振込をお願い致します。



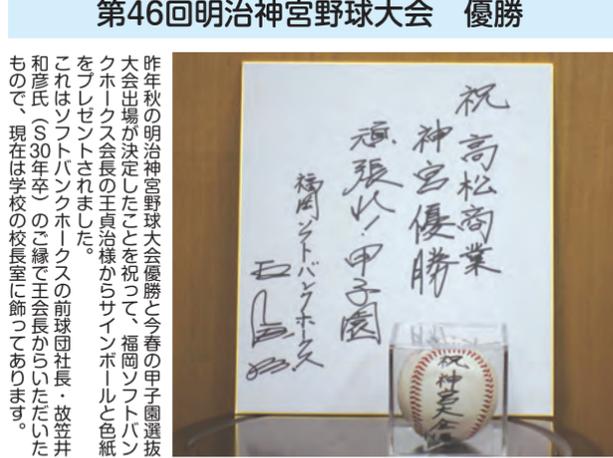
ハンドボール部 全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 優勝



野球部 第46回明治神宮野球大会 優勝



書道部 第8回全国高校書道パフォーマンス甲子園大会 優勝



祝高松商業 神宮優勝

加者があります。また、一昨年新たに発足した女子会(紫雲オリーブ会)が4月には溝淵最高顧問の講話と食事会を開催し、多くの女性会員が出席されました。

これからは誰でも参加できる機会を増やし、会員との親睦と交流を図り、東京支部を盛り上げて参ります。

特に、年次幹事委員会では各年次幹事に女性を充て、女性会員への働き掛けを積極的に参り、徐々に新しい会員が増えています。

また、若い会員にも同窓会への関心をいただけるように働き掛けをして行かなければならないと思っております。会社生活も終え、終の棲家を関東地区に構えた人からの会員加入も出て来ております。

そうした新たな会員も加えた東京支部の活性化を図る努力を果たして参ります。

こうした支部運営については皆様とともに力を合わせて進めて参りますので、会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



戴いた準優勝旗



第88回選抜大会で入場行進する高松商業野球部

高商野球部
第88回
全国選抜高等学校野球大会
準優勝



55年ぶり、感動の準優勝旗を前にした、高商野球部



優勝校と共に場内を一周する高商野球部

選抜大会準優勝については、9面に平成28年4月1日付・四国新聞のコラム記事「一日一言」が掲載してあります。

平成27年度 東京支部活動報告

平成27年度支部活動は、昨年の定期総会で承認された活動計画に沿い、支部会員の皆様のご支援ご協力をいただき計画どおりに達成することが出来ました。

7月4日には定期総会を開催し、151名の出席のもと有意義な総会となりました。

親睦・交流委員会では、第10回ゴルフ会を前支部長杯取り切り戦も併せ、CPGカントリークラブで、第9回日帰りバス旅行「スカイダック観光と懐石料理」をそれぞれ実施。会報9号を発行し、広く会員の皆様に支部活動状況をお知らせしました。

紫雲会東京支部 平成27年度 会計報告

期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日 単位：円

収入	支出	
前年度繰越	1,522,729	総会費用
総会費	837,000	料理 @5,400X149名
男@7,000X 91名	637,000	飲料 @1,620X149名
女@5,000X 40名	200,000	準備軽食
お祝金	57,000	懇談軽食
役員年会費	410,000	来賓土産
一般年会費	382,000	作品展費
27年度分	329,000	総会案内
26年度分	53,000	サービス料
会報賛助金・広告費	427,000	雑費
賛助金	257,000	事務消耗品・通信費
@5,000X31名	155,000	旅費交通費
@3,000X33名	99,000	慶弔
28年度分	3,000	振込負担金
企業広告	170,000	会議費補助
@70,000X1社	70,000	役員会
@50,000X2社	100,000	常任理事会
本部補助金	300,000	年次幹事会
受取利息	105	各委員会
雑収入	2,000	委員会補助金
		親睦交流活動補助金
		年次幹事委員会同期会助成金
		会報発行費9号紙
		ホームページ更新委託費
		事務局費
		85周年記念基金
		甲子園大会募金
		仮払金(28/4/23入金)
(当年度収入合計 2,415,105)		(当年度支出合計 3,126,770)
計	3,937,834	次年度繰越
		811,064
		3,937,834

役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の約半額と交通費の全額個人負担
常任理事会は2回開催、補助は1回のみ
各委員会の出席者は、会議費の約半額と交通費全額個人負担

平成27年度 付議事項

平成27年度の付議事項は決議を要するもの4件、報告事項7件でしたが、全て総会にて承認されました。決議事項の内容は、
1、平成27年度会計報告及び会計監査報告
2、平成28年度事業に関する予算
3、新常任理事候補(5名)、新理事候補(3名)、新監事候補(1名)

報告事項は、
1、紫雲会本部総会、大阪支部総会にそれぞれ出席
2、紫雲会懇談会開催(紫雲会本部、大阪支部、東京支部、学校)
3、10月8日にCPGカントリークラブで、10月13日に「スカイダック観光と懐石料理バスツアー」をそれぞれ実施
4、「紫雲会東京」会報9号を5月末に発行送付しました
5、東京香川県人会総会に東京支部より29名の出席
6、年次幹事会を5月23日に開催
7、支部発展に貢献で3名表彰

平成27年度 第10回 ゴルフ大会のご報告

親睦・交流委員長 S 39年卒 大森 正

10月6日(木) 台風23号の残風はありましたがまずまずのゴルフ日和でした。

今大会は支部長交代に伴う安西杯の取りきり戦で、S 28年卒の杉ノ内さんや藤原さんから58年卒の網谷さんまで幅広い年齢層の参加を得て21名の手練れが日頃の鍛錬を十分に発揮。

厳しく競り合いながらも楽しい大会となりました。

優勝はグロス86(ハンディ12)ネット74の藤川和信さん(S 46年卒)でベストグロス賞も併せて獲得。ドラコン、ニアピン賞にもからみました。

『水陸両用バス(スカイダック)での観光とちよっぴり豪華な昼食』 『バスに乗ったまま川の中へ?』を終えて

親睦・交流副委員長 S 39年卒 桑島恵美子

平成27年10月13日(火)実施の、第9回親睦交流「日帰りバス旅行」は、晴天に恵まれ、参加者も満足のうちに終了しました。

参加者全員が、スカイダック乗車は初めてということで、興味を抱きながらの体験だったようです。

また、スカイツリータウンソラマチ「国見」での昼食も、スカイツリー全景を目の前に見ながらいただくということ、お味の方も一段レベルアップしたのではないのでしょうか。

ご参加いただいた29名の方々には、いろいろご協力いただき、楽しい1

また、今回はS 50年代から初めて網谷竜一さん(S 58年卒)の参加がありました。

次回も若手会員のみなさまのご参加を心からお待ちしております。

〈第10回大会参加の皆さん〉

- S 28年卒 杉ノ内義春・藤原 弘
- S 31年卒 宇田川四郎・佐々木清・佃 昭幸・松本 篤・山田二郎
- S 32年卒 安西 愈・大野 勲・片岡英明・谷本清彦
- S 36年卒 造田貞男
- S 38年卒 西尾久史
- S 39年卒 池田政廣・北條 勇・大森 正
- S 40年卒 太田政輝・高橋正泰・村尾寿世
- S 46年卒 藤川和信
- S 58年卒 網谷竜一



水陸両用バス、スカイダック

日を過ごすことができました。次年度も親睦交流バス旅行に是非ご参加いただき、紫雲会を盛り上げて下さいますようお願いいたします。

参加者の顔ぶれは、次の方々でした。
S 28年卒 杉ノ内
S 31年卒 松下・日原・福崎
S 32年卒 安西・榎本
S 33年卒 小林・中西・小畑・十河
S 34年卒 山中
S 36年卒 造田・田所・吉田
S 38年卒 宮本3名
S 39年卒 北條・池田・大森・入谷・松濱・黒川・桑島
S 40年卒 大谷・鈴木
S 44年卒 綾・白土
S 51年卒 三好

以上29名(敬称略)



第2回紫雲オリーブ会 平成28年4月23日

来たれ、紫雲オリーブ会!!

S 55年卒 生駒真澄

紫雲オリーブ会(女子会)は、この夏3年目を迎えます。

これまでに行われた2回の集いは毎回紫雲会に初参加の方々をお迎えできていることを嬉しく思います。女三人寄ればかしましいと言われますが、この言葉は紫雲オリーブ会にピッタリと当てはまります。

美味しいお食事をいただきながら会話はどんどん進んで私たちを『箸が転んでもおかしい年頃』にタイムスリップさせてくれます。

まだこの楽しい体験をされていないその貴女、是非とも次回の集いにご参加ください。

第3回紫雲オリーブ会は平成29年4月22日(土)を予定しています。詳細は間近になりましたらホームページに掲載しますので、ご確認ください。

平成28年度 東京支部定期総会のご案内

本年度も紫雲会東京支部定期総会を開催しますので、ご出席賜りますようご案内申し上げます。
今年で83回目の総会となりますが、実行委員会が一生懸命の企画で、皆様をお待ちしておりますので多くのご出席をお願い致します。

- 1、日時 平成28年7月2日(土) 12時～16時 (受付は11時、お早目をお願いします)
- 2、場所 サンミ高松7丁目店 東京都中央区銀座7-13-20 電話 03-3546-8182
- 3、交通 東京メトロ 日比谷線「東銀座駅」徒歩5分、銀座線「銀座駅」徒歩5分
- 4、会費 男性 7,000円 女性 5,000円 29才まで 5,000円 (男女20才以下は無料)
- 5、イベント・ビンゴゲーム 支部や役員多数のご寄贈で賞品は沢山用意してあります。お楽しみください。
- 6、作品展 今年で9回目の総会併設展示会で、会員の力作(絵画、書道、写真等)を是非ご観賞ください。
- 7、次第 開会、校歌斉唱、挨拶、報告、審議、役員人事、乾杯、懇談、ビンゴゲーム、万歳三唱、閉会

紫雲会東京支部 平成28年度 予算案

期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日 単位：円

収入	支出
前年度繰越 811,064	総会費用 1,282,000
総会会費 900,000	料理 @5,400x150名 810,000
男@7,000x100名 700,000	飲料 @1,820x150名 243,000
女@5,000x40名 200,000	
お祝金 30,000	懇談会費 15,000
役員年会費(27年度と同額計上) 410,000	米費土産 20,000
一般年会費(27年度と同額計上) 382,000	雑費 40,000
	総会案内 154,000
会報賛助金・広告費 440,000	事務消耗品・通信費 94,000
賛助金 230,000	旅費交通費 175,000
@5,000x28名 140,000	慶弔 50,000
@3,000x30名 90,000	振込負担金 45,000
企業広告 210,000	会議費補助 390,000
@50,000x3社 150,000	役員会 105,000
@20,000x3社 60,000	常任理事会 56,000
本部補助金 300,000	年次幹事会 93,000
受取利息	各委員会 136,000
	委員会補助金 50,000
	年次幹事委員会同期会助成金 50,000
	会報発行費10号紙 330,000
	ホームページ更新委託費 70,000
	事務局費 50,000
	85周年記念基金 100,000
	予備費 100,000
(当年度収入合計 2,462,000)	(当年度支出合計 2,736,000)
計 3,273,064	次年度繰越 537,064
	計 3,273,064

役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の約半額と交通費の全額個人負担
常任理事会は2回開催、補助は1回のみ
各委員会の出席者は、会議費の約半額と交通費全額個人負担
29年度より総会会費の改訂を計画。(男性8,000円 女性7,000円の予定。)

平成28年度 支部活動

8、お願い (若干の変更はあります)
会報に同封の「総会出欠ハガキ」を6月15日(水)までに投函くださるようお願い申し上げます。

本年度は次の活動計画を推進いたします。

組織

①役員人事

(新任)

- 副支部長候補(4名)
 - S 32年卒 安西 彰
 - S 33年卒 関 邦義
 - S 36年卒 田所 幸子
 - S 39年卒 桑島恵美子
- 常任理事候補(4名)
 - S 33年卒 吉川 俊夫
 - S 49年卒 塚本 初江
 - S 51年卒 福西佐都美
 - H 2年卒 岩本真由美
- 理事候補(1名) 岡田久美子 様
- 監事候補(1名) 西木 茂雄 様

(退任)

- 常任理事 S 33年卒 川田 福造 様
- 理事 S 29年卒 内海 昭夫 様
- S 31年卒 松原 孝雄 様
- S 33年卒 小畑 和子 様
- S 38年卒 森山 泰文 様
- S 36年卒 長尾 一郎 様

②会議

- 総会 1回/年 開催
- 役員会 1回/年 開催
- 表彰委員会 1回/年 開催
- 常任理事会 2回/年 開催
- 年次幹事会 1回/年 開催
- 8委員会
- (総会) 親睦交流 表彰検討 会報 総務 年次幹事 ホームページ 女子会) 随時/年開催

親睦・交流事業

- ①日帰り旅行 左記参照
- ②ゴルフ大会 下記参照
- ③女子会(紫雲オリーブ会) 4月 開催済
- ④母校スポーツで東京大会時の団体戦応援
- ⑤東京香川県人会定期総会 11月4日 開催

広報活動

- ①広報紙「紫雲会東京」10号を発行
- ②東京支部ホームページの内容充実と共に情報発信に努める

カルチャー活動

- ①会員作品展の開催
- ②会報「投稿コーナー」の充実
- ③表彰対象者の募集

基盤強化活動

- ①会員名簿の充実とメンテナンス
- ②新規会員の掘り起し
- ③年次同窓会の開催支援
- ④役員の拡充
- ⑤紫雲会(本部)(大阪支部)及び学校との連携

平成28年度第11回 ゴルフ大会のご案内

親睦・交流委員長 S39年卒 大森 正

平成28年度「第11回 紫雲会東京支部ゴルフ大会」を左記の通り開催いたします。

ゴルフ愛好者のご参加をお待ちしております。女性の方のご参加大歓迎です。
若手会員のみなさまもごぞつてご参加ください。

- 1、日時 平成28年10月5日(水) 集合9時
- 2、会場 CPGカントリークラブ 千葉県市原市川在974 TEL 0436-36-1251 クラブバス JR五井駅東口 8時30分



5、締切

平成28年9月15日(木)

3、会費

- 14,000円 (プレー費、食事、パーティ、賞品代含む)

4、申し込み先

- ①幹事 大森 正 電話・FAX 043-273-2662
- ②支部事務局 事務局長 漆原慎二 電話 03-5568-3320 FAX 03-5568-3310

◆集合・解散場所

池袋駅西口 (詳しい場所は、参加希望の方に後日ご連絡します)

◆時間

集合・出発/9:00 解散/19:00 (予定)

◆申込先・べ切日

担当・桑島恵美子 FAX 03-3203-4808 PC kuwa2525@yahoo.co.jp

◆会費の振込先

ゆうちょ銀行 10050-83112771 クワジマ エミコ 口座

◆納入期間・期限

*納入期間・期限 9月1日～9月20日 (納入後、ハガキにて事業の詳細をご連絡します)



『世界遺産 富岡製糸場』見学と「舌切り雀のお宿」での温泉付き昼食の旅

親睦・交流副委員長 S39年卒 桑島恵美子

★歴史に思いをはせることも母校に思いをはせることも 自分を今を再確認できる大切なひとときではないでしょうか ★

私たちは、紫雲会ということばの中に、それぞれの母校の時間を思い起こします。世界遺産ということばの中には、偉大なる歴史を思い起こし

感動をありがとう!

日2年卒 岩本真由実



片瀬真唯子(かたせまゆこ)のペンネームで小説を書いています。二〇一〇年に「甲子園でもう一度きみに逢えたら」という物語を出版しました。もしも高商が二十年前に甲子園に出場したら……? そんな想像を基にして書いたのですが、この春、想像が現実となりました。

第八十八回選抜高校野球大会、出場するだけでもすごいことなのに、なんと高商は準優勝! 甲子園で高商を応援できるなんて本当に夢のようでした。昨秋の明治神宮大会優勝

「挑戦者」の気持ちで

〜神宮大会、選抜大会を終えて〜

野球部監督 長尾 健司



まず初めに、「明治神宮野球大会」から始まり、「第88回選抜高校野球大会」におきまして

多くの卒業生ならびに、県民の声援をいただき、チーム力以上の結果を出すことができました。本当にありがとうございました。

選抜大会に向けては、「感動野球」を目指して、「ベンチとスタンドが一体となった、シビれる試合をしよう。」と冬場の練習に取り組みました。「全力でプレーすること」「最後まで

からずつと夢見心地の日々、楽しんでいただきました。そしてこれからも夢は続いていくのでしょうか。

高商ファンのみならず、香川県民が熱く燃えた春、東京にいてもその一体感を感じることができました。高商野球部からこれだけの夢と感動を与えていただいたのですから、私たち大人も頑張らないといけない、そんな気持ちになりました。

小説を出版したことを機に、高松商業高校ならびに紫雲会の皆様には大変お世話になりました。母校で講演をさせていただいたこと、四国新聞や朝日新聞に記事が掲載されたこと、貴重な経験をさせていただき心より感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。



インターハイ優勝

ハンドボール部顧問 田中 潤



平成27年度全国高等学校総合体育大会において2年ぶり3度目の優勝を手にすることができました。

現3年生は1年次に全国高等学校総合体育大会優勝を体験、苦しみぬいて日本一を手にした上級生の戦う姿を見てきました。2年次には重圧の中3連覇に挑みましたが力及ばず準決勝で敗退、非常に悔しい思いを体験しました。それらの経験が、苦しい場面でも我慢ができ、大会を通して高松商業のスタイルである「D

躍動初V

〜高商書道ガールズ

書道部顧問 二宮 靖之



第8回全国高校書道パフォーマンス甲子園大会が、平成27年7月26日(日)に四国中央市

の伊予三島運動公園体育館で開催された。今大会には全国から84校がエントリーし、予選を通過した21校が本戦に進んだ。

当日は晴天に恵まれ、開門1時間前には1000mを超える人が列をなした大会への期待の高さがうかがえた。本校の出場は4年連続4度目。予選1位通過を果たし、目標を優勝と定め練習を重ねてきた。

Fで粘って走る」戦いに徹することができました。

準決勝・決勝とどちらに転んでもおかしくない1点差のゲームをものにできたのも、これまで培ってきた「高松商業」という学校の力が大きかったと感じています。

昨年度の神奈川インターハイでは紫雲会東京支部、今年度の大阪インターハイでは大阪支部の多くの方々に会場まで足を運んで頂き、大きな力を頂きました。先輩方の存在が生徒のエネルギーとなりパワーとなっています。この優勝を体験した1、2年生が新たな歴史を刻んでくれることを期待したいと思います。そして紫雲会の皆様により報告ができるよう部員と共に取り組んでいきます。今後ともよろしくお願ひします。

今回は、①古代中国(三国志)を

舞台上に②木簡を題材として③緩急をつけた動きと統一感をテーマとした。曲は映画「レッドクリフ」の主題歌を用いた。演技順は21校中最後の21番目であったが、時間をうまく使いリラックスした状態で演技に臨めた。演技終盤で用いた銅鑼の音色も効果的であった。

大会結果は目標に掲げた念願の「優勝」で締めくくることができた。大会に向けて多くの方々から助言や協力をいただき感謝の念で一杯である。また全国大会を通して生徒の成長を感じることができた。

来年の二連覇に向け、生徒一人ひとりの技術の更なる向上を図ると共に、日々の学校生活を大切に、生徒自身が自ら考え行動できる部を作っていく。

平成27年度 定期総会写真



中筋 政人 高松商業高校校長ご挨拶



北畠 昭二 大阪支部長ご挨拶



真鍋 健彦 紫雲会会長ご挨拶



北條 勇 東京支部長挨拶



総会会場風景



総会会場に到着された来賓の皆様

紫雲会会長挨拶

紫雲会会長 S38年卒 真鍋健彦



この度の東京支部会報紙「紫雲会東京」10号紙発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。東京支部の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、紫雲会に格別のご支援ご理解を賜り心よりお礼申し上げます。今年も304名の卒業生が巣立つてゆき卒業生は総勢約3万4千人を超えました。

東京支部をはじめ全国で多くの卒業生が活躍しており歴史と伝統ある高松商業を誇りに思う次第であります。

この度高商野球部の活躍はご承知の通りであります。

東京支部の皆様をはじめ全国の卒業生は高商野球の復活を首を長くして待ち望んでいましたが、昨秋の四国大会での優勝、明治神宮大会で

紫雲会大阪支部長挨拶

紫雲会大阪支部長 S40年卒 北島昭二



東京支部の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

東京支部挙げて応援された昨年の秋の明治神宮野球大会での優勝に続く、母校高松商業野球部の春の二十年ぶりの甲子園大会出場が、私共大阪支部にとりまして、最大の行事となりました。

学校と紫雲会本部、東京支部と連携しながら、甲子園の応援準備の協力をさせていただきましたが、なかなかこういう機会には恵まれない貴重な経験をさせてもらいました。

大会期間中、連日始発の新幹線に乗って甲子園に駆けつけてくださり受付と一緒にしました東京支部長の北條様、副支部長の池田様とも楽し

の全国優勝そして20年ぶりの甲子園出場それも準優勝という素晴らしい結果を与えて頂きました。

また、高商野球部のこの様な素晴らしい結果は監督、選手は勿論ですが、3年前皆様から寄せられた寄付金による雨天練習場の完成、また、今回の甲子園出場に伴う寄付金のおかげであることは言うまでもありません。皆様のご協力に感謝申し上げます。

甲子園での決勝戦のサヨナラ負けした瞬間、選手達の無念さがアルプスタンドへ伝わってきたが、私は選手達に言いたい！

「選手諸君泣かなくていい、顔をあげてくれ。本当に素敵な春をありがとう」また「春に残した忘れ物を取りに夏、また来よう」。

これからも東京支部の皆様とともに頑張っていく所存でありますので今後ともご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、紫雲会東京支部の益々のご発展を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

いい思い出となりました。

同じ高松商業の卒業生という絆でアルプス席が一体となって母校の応援をした素晴らしい雰囲気、これが高松商業同窓会の良さであり、心のふるさと高松商業への郷愁と愛着心が一度に大きく開花した瞬間でもありました。

本校の諸先輩方が築かれた伝統に由来する高松商業野球部の持つ求心力の強さを痛感するとともに、私達に夢と感動を与えてくれた選手と長尾監督に心から感謝いたします。

今後、この甲子園での応援で強まった紫雲会本部及び東京支部との連携協調の輪をより一層深めるべく、紫雲会活動に努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、紫雲会東京支部の今後の益々のご発展並びに会員の皆様方のご健康を心から祈念いたします。挨拶とさせていただきます。

学校長あいさつ

香川県立高松商業高等学校長 S51年卒 中筋政人



紫雲会東京支部の皆様には、日頃より大変お世話になっております。高商での勤務は二年目になります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年、明治神宮野球大会及び選抜高等学校野球大会において、募金や球場での応援など物心両面にわたり多大なるご援助を賜り厚く御礼申し上げます。また、各部が全国大会出場のため上京した折には、激励や食事会へのご招待など心温まるおもてなしをいただき感謝に堪えません。

さて、平成28年度は、全日制課程939名、定時制課程38名、合計977名の生徒が在籍しており、4月の始業式や入学式を待ちかねたように、勉強や部活動に熱心に取り組んでおります。

新年度を迎えるにあたり、次の2つのことを生徒に伝えました。一つ目は、目標実現のために主体的に意欲を持って自ら取り組むということです。学習や部活動などにおいては「やらされる」のではなく、自ら考え、判断し、責任ある行動をすることが大切と考えています。二つ目は、高商の校訓「至誠・剛健・協同・勤労・敬愛」を高いレベルで実践するということです。この素晴らしい校訓を高校生活の土台にして、社会の中で力強く、かつ柔軟に生き抜く力や、目標を実現する力、幸せになる力などを養うとともに、心豊かな人になって欲しいと考えています。

今年度も、教職員が一丸となって教育活動に邁進するとともに、新しい伝統を築くべく日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

紫雲会東京支部の一層のご発展と会員の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、母校高商への益々のご支援をお願い申し上げます。



2015-7-4 紫雲会東京支部総会 S32年卒 昭和32年卒業の皆さん



昭和31年卒業の皆さん



祝 卒業50年

昭和40年卒業の皆さん

平成27年度 年次別集合写真



昭和54・55年卒業の皆さん



平成2・5年卒業の皆さん



昭和55年卒業の皆さん



昭和43年卒業の皆さん



写真 関 邦義氏 (S33年卒)



紫雲会東京支部会員作品展

平成27年度
**作品
展示会**



油彩 長尾 利之氏 (S31年卒)



写真 中西 勲氏 (S33年卒)



写真 谷本 清彦氏 (S32年卒)



書道 築地 佐和子氏 (S56年卒)



書道 末澤 晴代氏 (S36年卒)



版画 若宮 利夫氏 (S37年卒)



油彩 左2点 片岡 英明氏 (S32年卒) 右1点 小原 清氏 (S33年卒)



総評を語る大会会長



優勝旗を授与される米麦主将



決勝戦を勝ち抜き応援の皆さんに感謝の挨拶



ダイヤモンドを一周する高商野球部

高商野球部
第46回
明治神宮野球大会
優勝
平成27年11月13日~17日



優勝旗を先頭に堂々の行進



7-2とリードしてひと安心の応援席



神宮の森に流れる校歌。いい校歌だなあ



いやー、逆転で勝ったゾ！ 優勝だ！ 万歳！！

ふるさと「香川県」情報

香川県東京事務所前所長 高木康博



第88回選抜高校野球大会準備優勝、誠にありがとうございました。また紫雲会東京支部の北條支部長をはじめ会員の皆様方におかれましては、連日の応援お疲れ様でした。

さて、3月20日、瀬戸内海に浮かぶ12の島々などを舞台に、「瀬戸内国際芸術祭2016」が開幕しました。3回目となる今回は、これまでにも増して充実した世界トップレベルのアート作品やイベントに加え、新たに「瀬戸内の食を味わう食プロジェクト」、「アジア・世界と交流する瀬戸内アジア村」、「盆栽・獅子舞など地域文化の発信」などのプロジェクトを展開しています。大変好況で開幕から2週間の入場者数は前回比約2割増となっています。

今月の29日、30日には、伊勢志摩サミットに合わせて行われる情報通信大臣会合が高松市で開催されます。情報通信大臣会合は、四国で開催される初めての閣僚会合であり、プレスツアーや歓迎行事などを通じて、香川の魅力を国内外に効果的に発信し、香川・高松の都市ブランド力を高めたいと考えています。

高松空港は、航空路線の充実に取り組んだ結果、3月20日から高松・台北線が週6往復に増便されたほか、7月6日から新たに高松・香港便が週3便で開設されます。この結果、国内線の高松・羽田線が1日13往復、高松・成田便が3往復、沖縄便が1往復、国際線はソウル、上海、台北、香港の4路線と充実したものとなります。

今年、香川から始まる逆打ち遍路の年です。4年に一度、閏年に八十八番札所から逆に回れば、一番から順に巡っている弘法大師に出会いやすくなるという言い伝えがあります。四国遍路については、現在、世界遺産登録に向けて、産学官民が一体となって取り組んでおり、昨年、国から認定された日本遺産や広域観光周遊ルートを生かしながら、より一層の情報発信と機運の醸成に努めます。

食の分野では讃岐うどんのほか、オリブ牛やオリブハマチ、ミカンの小原紅早生、シャインマスカットなどの「さぬき讃フルーツ」、イリコ、ノリ、米の「おいでまい」など全国に誇りうる優れた食材がたくさんあります。とりわけ、昨年7月にデビューした「オリブ夢豚」はジュシーでコクがあり、甘く濃厚な高評価を得ています。地元プロサッカークラブ「カマタマーレ讃岐」は、J2に昇格して2年目の昨年、1年目の21位から16位に順位を上げるなど香川を大いに盛り上げてくれました。今年はお出しから好調で現時点(4

東京香川県人会だより

東京香川県人会副会長 S39年卒 北條 勇

平成27年11月4日(水) 東京プリンスホテルで「東京香川県人会総会」が開催された。

今回は東京會館が改築工事のため、会場を前述ホテルに移して開催しました。紫雲会東京支部から多数の受付の応援があり、新しい会場での混乱も無く開催されました。

18時から、香川県出身の落語家「桂こけ枝」の司会で始まり、同じく香川県出身シンガソングライター「藤岡 友香」のコンサートで総会がスタートしました。

総会では、岡本えり子、生駒真澄両氏が理事に、私、北條勇が副会長にそれぞれ承認されました。

同窓会別出席者数は高松商業29名で昨年より微増しましたが、残念ながら丸亀高校(48名)、高松高校(30名)に次ぐ3位でした。今年是非、再びトップに返り咲きましょう、多くの出席をお願いします。

懇親会は、さぬきの特産品「オリブ牛」、「オリブはまち」を始め、美味しい料理と

月14日)で4位につけており、J1も夢ではありません。首都圏でもJ1経験チームとの試合が行われますので、皆様方の熱い応援をお願いします。

春高バレー 7年連続9回目出場

バレー部顧問 谷畑祐二



日頃より、紫雲会東京支部の皆様には大変お世話になっております。私は昭和61年英実卒の谷畑祐二と申します。3年前に母校である高商に転勤となり、現在、保健体育科の教諭として勤務しております。

さて、第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会が平成28年1月5日から東京体育館で開催されました。本校女子バレー部は、1回戦で東京代表の3チームの中でもパワーと高さを誇る下北沢成徳高校(今大会優勝校)と対戦しました。結果は散々なものですが、1、2年生の新チームで挑んだ大会であり、選手達にとつて負けはしたものの、ある意味大変良い経験になったと思います。

また、選手達のために真っ赤なジャンパーを着て、鉢巻きを締めて最後まで大声援をして頂いた東京支部の有志の方々には本当に感謝しております。さらには、銀座サシミにて、溝淵最高顧問、安西名誉支部長、北條支部長、安西彰常任理事、池田会報委員長様同席のもと、夕食会を開いて頂いたこと重ねてお礼申し上げます。

毎年、生徒は変わりますが、今後とも指導に励み応援して下さい。皆様への期待にこたえられるよう頑張っていくつもりです。ご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

今年も「東京香川県人会総会」を盛大に開催いたします。香川県産食材(オリブ牛、オリブはまち等)を使った美味しいお料理や香川県産のお酒を賞味いただけます。紫雲会東京支部の多くの皆様に参加いただけることを願い、心よりお待ちしております。

開催日時 平成28年11月4日(金) 18時
会場 品川プリンスホテル「プリンスホール」(港区高輪4-10-30)
次 第 総会、懇親会、アトラクション、お楽しみ抽選会、さぬきうどんコーナーなどお楽しみ企画が盛りだくさんです。
参加費 8,000円(学生3,000円) *会費変更予定
開催案内は9月中旬に送付する予定です。ホームページにも掲載します。
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/Tokyo/index.htm>
ご案内を希望される方は、東京香川県人会事務局へご連絡ください。東京香川県人会にご入会いただくと、毎年ご案内を差し上げます。
【お問い合わせ先】東京香川県人会事務局
電話 03・5212・9100



平成27年度 定期総会



平成27年度表彰 安西 愈 名誉支部長

平成27年度表彰 榎本 恵一 顧問(前 支部長代行)

平成27年度表彰 造田 貞男 顧問(前 常任理事会議長)

歓談風景



絶妙なトークで会場を沸かせる塚本さん



惜しい! なかなかビンゴにならないー



ビンゴ!! 当たりました!!



今年も皆様から沢山の景品をご提供いただきました

東京支部 俳壇・歌壇

川柳 俳句 短歌

- ・旅立ちの原点母校 甲子園
- ・ふるさとの心一つに 甲子園
- ・シルエットは青春である 老夫婦
- ・辛い嘘本当は知っていて 優し
- ・鏡割一つ生かされている 不思議
- ・人生に無駄はなかった 冬木立
- ・扇面に書きたるメニュー 夏料理
- ・遍路道やさしさ温い お接待
- ・動き出す 国の行く末 春霞
- ・夕食はいらぬと言って 出かける日
- ・妻の微笑背後に感ず

- ・同窓会 校歌朗々 春宴
- ・久々の甲子園 高商健翁の胸躍る
- ・元高商教師 十川 敬先生(90才)
- ・天翔ける 高商ナイン 花万葉
- ・教え子も六十三やおでん酒

- ・(甲子園大会準優勝)
- ・よくやった誇りに思う 君たちを
- ・応援団チアが目につく 我が母校
- ・(近況)
- ・冥途から 歓待すると言われても
- ・色と欲すりきれまして かしこまり
- ・絆より 手綱さばきで 妻は活き

- ・(母を思って)
- ・風呂釜に 櫛焚き付ける 亡母の顔
- ・焔にそまりたる その顔 儼ぶ
- ・(サヌカイトに上皇の想いを込めて)
- ・白峰の 山に高音の サヌカイト
- ・崇徳上皇の 雄叫びひびく

- ・S 39年卒 鈴木 康様
- ・古希の朝 一声ありぬほととぎす
- ・蜘蛛の糸 光し雨滴からめをり
- ・去年今年 はじける未来 赤子泣く

五行歌

- ・S 35年卒 福家貴美様
- ・六十年連れ添うても
- ・男は解らないよ
- ・九十七才の母は言う
- ・そうかなあ
- ・トマトを植える夫を覗き見する
- ・青と白と緑の
- ・際立つ
- ・横浜の街
- ・今宵のスーパームーン
- ・静かに抱きしめる

- ・S 33年卒 吉川俊夫様
- ・扇面に書きたるメニュー 夏料理
- ・遍路道やさしさ温い お接待
- ・動き出す 国の行く末 春霞
- ・夕食はいらぬと言って 出かける日
- ・妻の微笑背後に感ず
- ・(甲子園大会準優勝)
- ・同窓会 校歌朗々 春宴
- ・久々の甲子園 高商健翁の胸躍る
- ・元高商教師 十川 敬先生(90才)
- ・天翔ける 高商ナイン 花万葉
- ・教え子も六十三やおでん酒

会員作品展 作品募集

- 絵画・版画 出品点数 3点以内
- 大きさ 30号まで
- (申込先) 片岡 大さき
- TEL 090・7282・0325
- 写真 出品点数 3点以内
- 大きさ 全倍まで
- (申込先) 中西 大さき
- TEL&FAX 042・592・7407
- 書道・工芸 等 出品点数・大きさ 相談
- (申込先) サンミ高松内 東京支部 漆原
- TEL 03・5568・3320
- 申込期限 6月25日(土)

搬入

7月2日(土)
総会会場午前9時30分
東京都中央区銀座7-13-20
サンミ高松7丁目店
TEL 03(3546)8182

(注)①宅配利用の場合 右記へ
7月1日(金)12時14時配達指定
②吊下げ用ヒモ事前に取付けのこと

撤去 総会終了20分後各自実施
担当 谷本清彦

同期会のすすめ

S 51年卒 萬納宏俊



皆様、紫雲会東京支部では、昭和42年卒、56年卒が初めて同期会を4名以上で開催した場合、1人当たり2千円の助成金を支給していることをご存知でしょうか？

昭和51年卒は、この制度を利用しまして平成27年4月18日に丸の内ワイン倶楽部で昼食会を開催しました。高校時代は一度も話をしたことはなかった方ともすぐに打ち解け、高校時代の思い出とどまらず、近況や子供の話、親の介護、ペットや趣味の話に盛り上がりあつたという間に楽しい時間が経ちました。

そして、7月4日の紫雲会東京支部総会には、6名の方に出席していただくことができました。総会では、幅広い年代の方といろいろな情報交換もできますので、同期会とはまた違った意味で有益な交流の場だと思えます。

また、11月15日の明治神宮大会の札幌第一高校戦の応援には、5名の同期が神宮球場に集まって、並んで座って応援することができました。高校時代も、中央球場で県大会や四国大会の試合の応援をしたこと。

同期会実施促進補助について

常任理事会議長 S 39年卒 池田政廣



現在東京支部では同期会を『実施していない年次』の実施促進のため最初の同期会について一人当たり2000円を補助するという制度があります。

対象年度は42年卒以降の年次とする。
(41年卒 43年卒 46年卒 51年卒 56年卒は実施済)

人数は4名以上で実施する。(1回限りの補助)

この制度は平成24年度に制定されま

したことを思い出しました。

今回、同期会を開催することができた理由としては、女子会というコミニケーションの場ができたことにより、女性も出席するきっかけになったと思います。

また、同期会を開催されていない卒業年次の皆様も、まずは、4名からでも同期会を開催していただければと思います。必ずや楽しい時間を過ごせることと思います。

最後に、昭和51年卒は、2年後の還暦の年に同期会を開催したいと思えますので、今回、出席できなかった皆様もよろしくお願いたします。



S51年卒 同期会

効果としては、実施年次では24年度総会出席者10名が25年度は18名に増加しました。

東京支部にとってもS30年代卒の人達による同期会開催や紫雲会活動は活発ですが、バトンタッチすべきS40年代50年代卒の人達が少なく、断層があり、なんとしても同窓会活動に関心を持って頂き、次々世代の後継者を育成していかねばなりません。

そのためには、まず同期会を実施していくことから始める必要があります。次の段階で東京支部活動への参画していく、二段構えで考えております。

既に実施した51年卒の記事を参考にさせていただきます。高商仲間を増やしてください。

明治神宮野球大会応援日記

S 31年卒 日原朋子



11月15日(日)
数日前に届いたFAXを持ち神宮球場に向かい、福崎さん、松下さんと合流した。球場のスタンドには、かつて西鉄ライオンズの名選手だった中西太さんが見えなくなった。氏が高松一高時代、野球部々長先生が松下さんのお父様という縁で親しくお話を頂いたので。

いよいよ札幌一高との準々決勝開始。杉ノ内応援団長の下一斉応援が始まった。高松中央球場以来60年ぶりのことで、最初は戸惑っていたが、選手の真剣なプレーに胸が熱くなり力が入る。7対2と快勝し、明日を楽しみに帰路に着いた。

11月16日(月)
今日の対戦相手、大阪桐蔭高校は、多くのプロ野球選手を輩出している甲子園出場の常連校だ。選手の力を信じ、応援しようと思っかけた。杉ノ内さんの代理で福崎さんが応援団長を努めてくれた。はじめての女性団長だが、彼女の力強いリードで声援を送る。

「生徒のいない分OBが頑張りましたよね」と、隣の若い3人組OGたちも張り切っている。

エースを欠いた試合であったが、前半のリードを守り、堅実な試合運びで勝ち進んだ。

友人たちと明日の約束をして帰る。

11月17日(火)
優勝してほしいの一念で球場に向かった。傘寿に近い3人だが、気持ちは高校生だ。杉ノ内団長の下、力いっぱい声援するが、さすが春の選抜優勝校、敦賀気比校は強い。3点リードされ終盤に向かう。ここまでよく頑張ったとあきらめかけていた8回から、反撃が始まった。

あつと8点入り逆転した。長尾監督の指導でしっかり練習してきたであろう選手たちの強い気持ちが伝わり、感激した。優勝です!!

緑に映える紫雲山。松に不易の色も濃く。校歌は神宮の森に広がった。

応援の楽しさを思い起こさせて下さった野球部の皆様、ありがとうございます。そして、優勝おめでとうございました。

祝・高商野球部 第88回全国選抜高等学校野球大会準優勝

四国新聞 平成28年4月1日付「一日一言」より

泣かなくていい。君の投球に酔ったよ。心を込めた127球だったね。顔をあげてくれ、浦大輝君。ありがとう。そして高松商ナイン、本当にすてきな春をありがとう。▲春の甲子園出場25回、夏を合わせると44回。全国でも屈指の名門校の復活を託された大会だった。中学野球の指導者から転身したばかりの長尾健司監督(45)、そしてナイン。きつと目に見えぬ期待と重圧を感じながらの戦いだっただろう。▲作詞家の阿久悠さんが、1996年の夏の甲子園に出場した高松商ナインに贈った名詩がある。▲「伝統はひきずるほど重し。歴史も肩が凝る。古豪と呼ばれることも(中略)でも諸君歴史や伝統もなかなかのものだと感じてほしい。何て云ったらいだろう。諸君の意識がどうであれ。培った実績と誇りは。まるでDNAのように。諸君の中で生きていく」(甲子園の詩「幻戯書房」)▲そう、決勝までの5試合。勝負どころで随所に伝統校のしたたかな攻守があった。初戦の勝負をかけた土壇場での盗塁、豪腕を一気に攻略した2回戦の集中力、乱戦の準々決勝でみせた冷静沈着な選球眼、守り合った準決勝での二枚腰の粘り。そして決勝歴史に残る息詰まる投手戦を堅守で支えた▲創部107年。多くのOBが感じているだろう。第1回センバツ優勝校の意地と誇りを。古豪復活の春である▲高商野球部歌にこうある。「勝ちて驕らず進みて止まず」。夏、また来よう。春に残した忘れ物を取りに。笑顔で帰ってこい。(B)

トピックス スポーツ情報

総務委員 S 33年卒 中西 勲

1 第46回 明治神宮野球大会(高校の部) 高松商業、敦賀気比を破り初優勝!

第46回明治神宮野球大会(高校の部)が平成27年11月13日から17日まで、明治神宮球場で開催され高校の部で高松商業野球部が37年振り2回目の出場をしました。

戦績は準々決勝・7-2札幌第一、準決勝・7-6大阪桐蔭と快勝し、11月17日の決勝戦で平成27年春の選抜優勝校の「敦賀気比」と対戦、8回に3点差から米麦選手がセンター前にライナーの同点適時打などで鮮やかに逆転、8、9回もエース浦投手の力投で得点を許さず見事「初優勝!」。

優勝の瞬間、高商応援席からは「万歳!万歳!万歳!」と歓喜の声が神宮球場に響きわたった。

なお、待ちに待っていた高商野球部の全国大会出場に、延べ3日間で400名の紫雲会東京支部の皆さんが「杉ノ内応援団長」のリードで熱烈に応援しました。



第46回明治神宮野球大会 激励会 於 品川プリンスホテル

2 春の高校バレーに 高商女子出場(7年連続)

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会が平成28年1月5日から「東京体育館」に於いて開催され、母校の女子バレー部が出場しました。戦績は、1回戦で大会前の予想では優勝候補とされている「下北沢成徳(東京)」と対戦、高商は1、2年生の新チームで戦ったが、「U18全日本チーム」に4名入っている「下北沢成徳」に0-2で惜敗し涙を吞みました。(今大会 下北沢成徳が優勝) 東京支部応援団長杉ノ内さんのリ



春高バレー 熱い応援風景 於 東京体育館



第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会 於 池袋サンシャインプリンスホテル

3 全国高等学校柔道選手権大会 高商柔道部 女子個人戦、男子・女子共に団体戦に出場

第38回全国高等学校柔道選手権大会が平成28年3月19日から「日本武道館」において開催され、母校の男女柔道部が個人戦、団体戦に出場しました。

3月20日に団体戦が行われ、男子は1回戦で豊栄高校(新潟)を破り、2回戦で崇徳高校(広島)と対戦したが惜敗。

女子も1回戦で奈良育英高校と対戦、善戦するも惜敗しました。

団体戦には東京支部より15名が応援しました。



第38回全国高等学校柔道選手権大会 於 日本武道館

また各大会とも、試合前日には北條支部長、安西名誉支部長、安西彰常任理事及び複数の常任理事が選手宿舎を訪問し、激励すると共に、紫雲会東京支部と有志からの「御祝い金」を贈呈致しました。

明治神宮野球大会には東京支部最高顧問の溝利幸様より、選手並びに応援にかけつけた支部の皆さんにサンミ高松特製の昼食の提供をいただきました。

さらに明治神宮野球大会、春高バレー、柔道選手権に出場チームの選手をサンミ高松銀座本店の食事に招いて激励していただきました。



第10回ゴルフ大会 参加者一同



スカイダック観光バスツアー 参加者記念写真



平成27年度 役員会



平成27年度 年次幹事会

税理士 鈴木 芳徳 (昭和36年卒)

事務所 〒276-0049 千葉県八千代市緑が丘一丁目一〇八千代緑が丘シティハイッツ三〇四号 電話・FAX 〇四七(四一九)五〇一五

秋山税理士事務所 秋山 典久 (昭和52年卒) メール: na11jp@yahoo.co.jp 大宮区土手町一六六一

10部からつくれる<自主出版>

あなたの「生きた証」を振り返り、長く歩いて来た道や思いをつづる「自分史」。廉価で綺麗に出来ると好評です。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町4-17 クスノキビル (有)ひまわり印刷 ☎(03) 3235-1488 e-mail: info@himawari.co.jp 楠 昭次郎 (昭和35年卒)

技術の日産が、人生を面白くする。

代表取締役会長 真鍋 健彦 (昭和38年卒)

香川日産自動車株式会社 〒760-0072 香川県高松市花園町1丁目1番8号 ☎0120-230057 http://www.kagawa-nissan.co.jp/

安西法律事務所

弁護士 安西 愈 (昭和32年卒)

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目4番地1号大倉別館3階 TEL 03-3563-3225~7 FAX 03-3561-2446

日本料理・イタリア料理・フランス料理

厳選素材を活かした四季折々の料理、お人数様に合わせた洋風、和風の個室もご用意いたしております。

代表取締役会長 溝渕 利幸 (昭和28年卒)

銀座Sun-mi本店 〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9 TEL. 03-5568-3300 (総合受付) 銀座 並木通り店・銀座 7丁目店・横浜 伊勢佐木町店